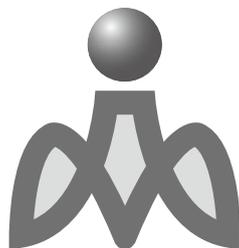


山 梨 県

商工会地区

# 中小企業景況調査報告書

〔令和元年10月～12月実績〕  
〔令和2年1月～3月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

# 目 次

I 調 査 要 領 .....	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観 .....	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	3
(2) 主な項目で見る業況 .....	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	6
(2) 主な項目で見る業況 .....	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	9
(2) 主な項目で見る業況 .....	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	12
(2) 主な項目で見る業況 .....	12

## 【I】 調 査 要 領

### 1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

### 2. 調査対象期間

第1四半期 令和元年10月～12月期 「調査時点：令和元年12月1日」

### 3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

### 4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サ ー ビ ス 業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	52	165

### 5. そ の 他

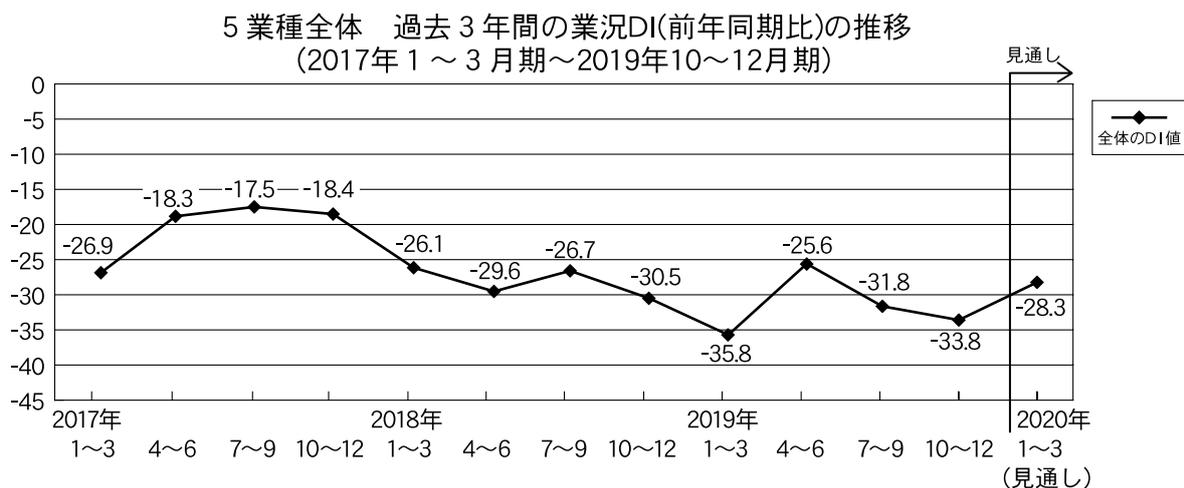
本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

## 【Ⅱ】 景 況

### 1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断DI、及び、産業別の業況判断DIについてみる。

まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断DIである。今期の業況判断DIは、▲33.8と前期比で2.0ポイント悪化している。一方、来期については、▲28.6へと改善する見通しである。

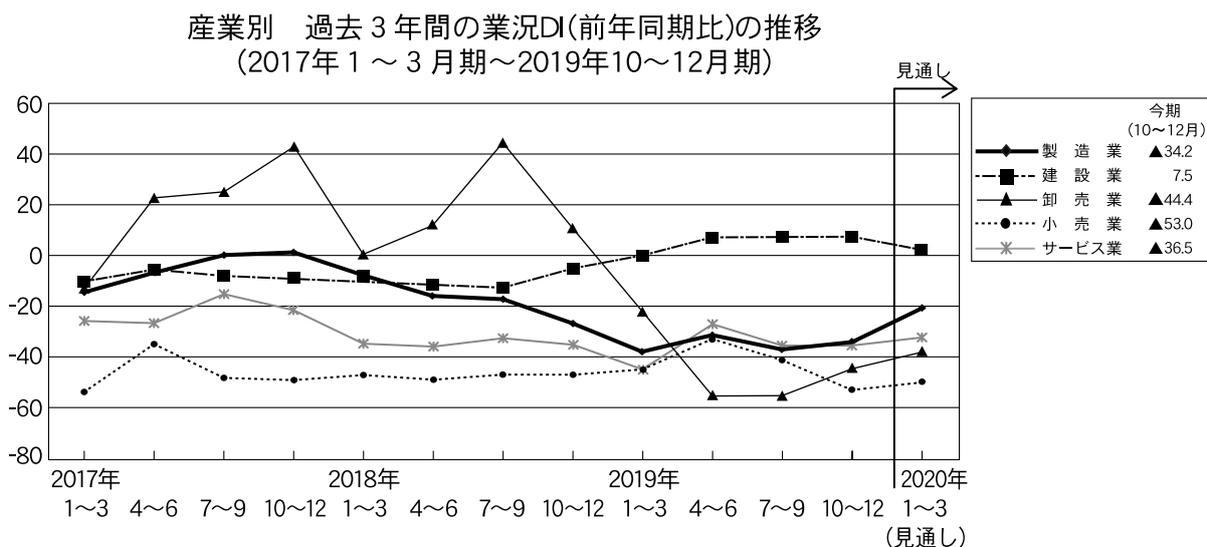


次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断DIである。

製造業が▲34.2と前期比で2.2ポイント、卸売業が▲44.4と前期比で11.2ポイント改善している。建設業は7.5ポイントで前期と変化なし。

一方、小売業が▲53.0と前期比で▲11.6ポイント、サービス業が▲36.5と前期比で▲0.7ポイント悪化している。

来期は、建設業を除く全業種が改善する見通しである（建設業は悪化見通し）。



**【注記】** 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの124企業を含めた289サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況DIについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

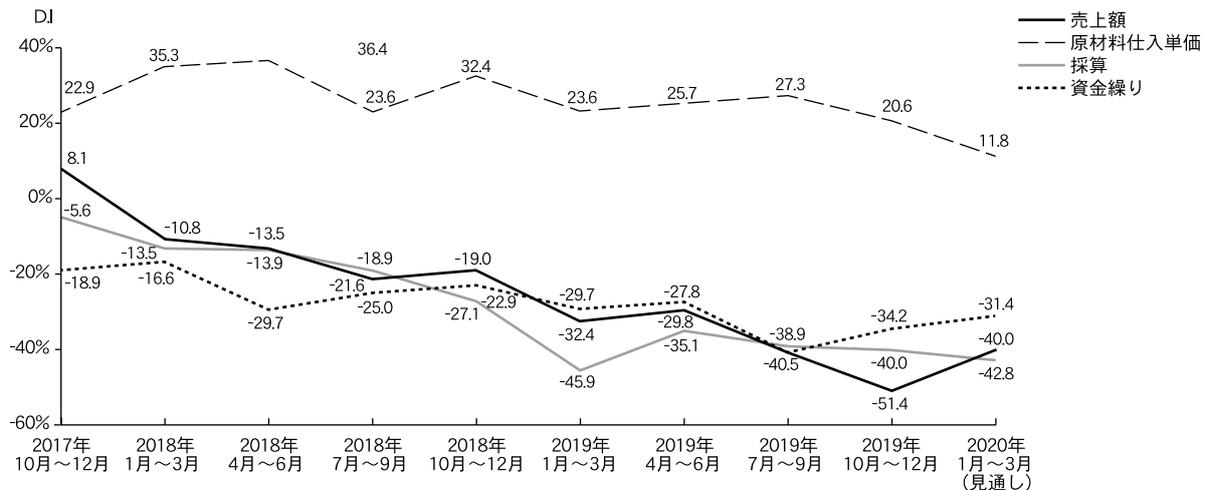
## 2. 製造業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲51.4と前期比で10.9ポイント悪化しているものの、来期は▲40.0と改善する見通し。原材料仕入単価D Iは、今期は20.6と前期比で6.7ポイント下降（改善）しており、来期は11.8とさらに改善する見通し。採算D Iは、今期は▲40.0と前期比で1.1ポイント悪化しており、来期も▲42.8と悪化する見通し。資金繰りD Iは、今期は▲34.2と前期比で6.3ポイント改善しており、来期も▲31.4と改善する見通しである。

今期は、原材料仕入単価D Iと資金繰りD Iが改善する一方、売上額D Iと採算D Iは悪化している。一方、来期は、採算D Iを除いて改善の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



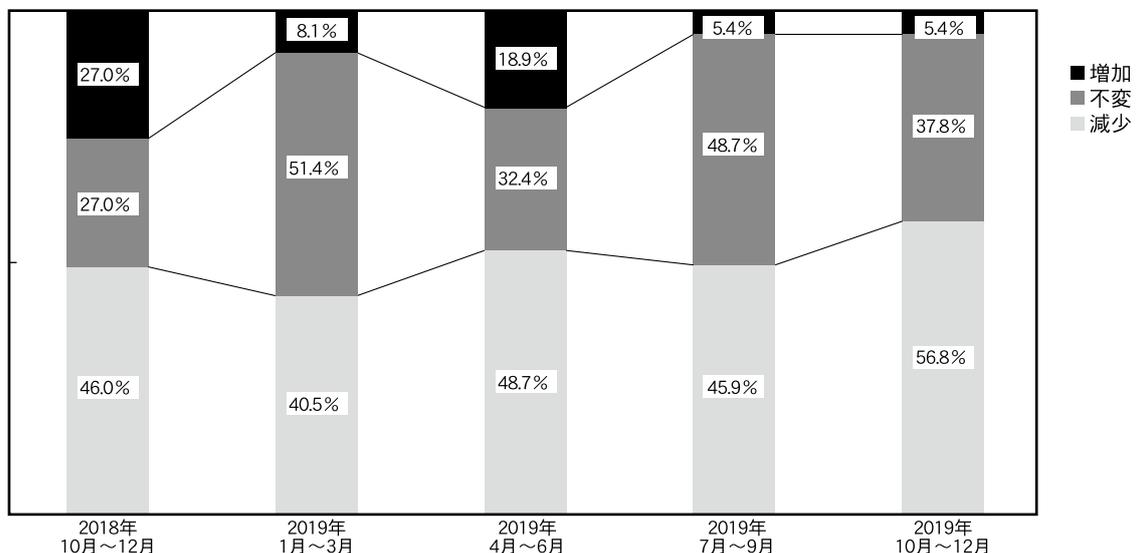
### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、5.4%（2社）と前期から変化なし。

「不変」は37.8%（14社）と減少（前期比▲4社）、「減少」は56.8%（21社）と増加（前期比+4社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



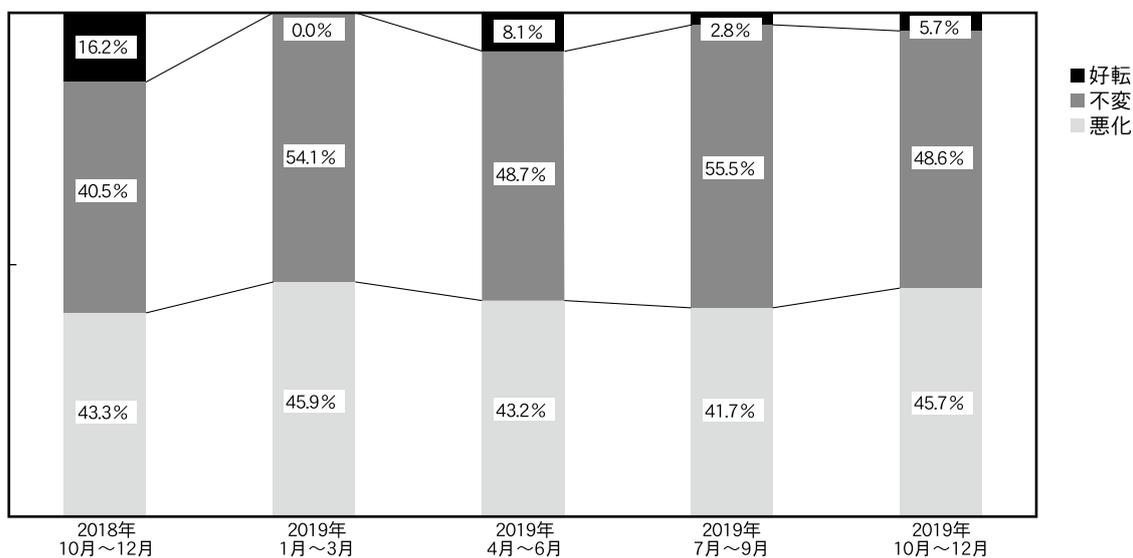
② 採算（採算D I の内容（回答企業数35社（前回36社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、5.7%（2社）と増加（前期比+1社）している。

「不変」は48.6%（17社）と減少（前期比▲3社）、「悪化」は45.7%（16社）と増加（前期比+1社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

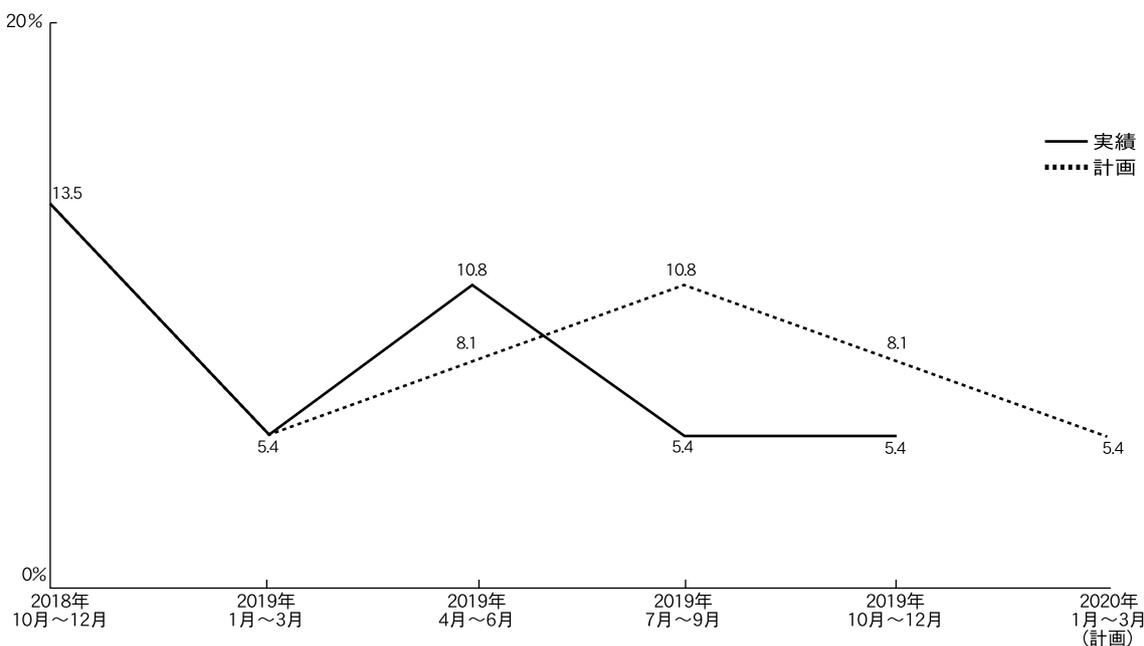


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は5.4%（2社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画についても、5.4%（2社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「土地」「福利厚生施設」が1件ずつになる。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数31社）

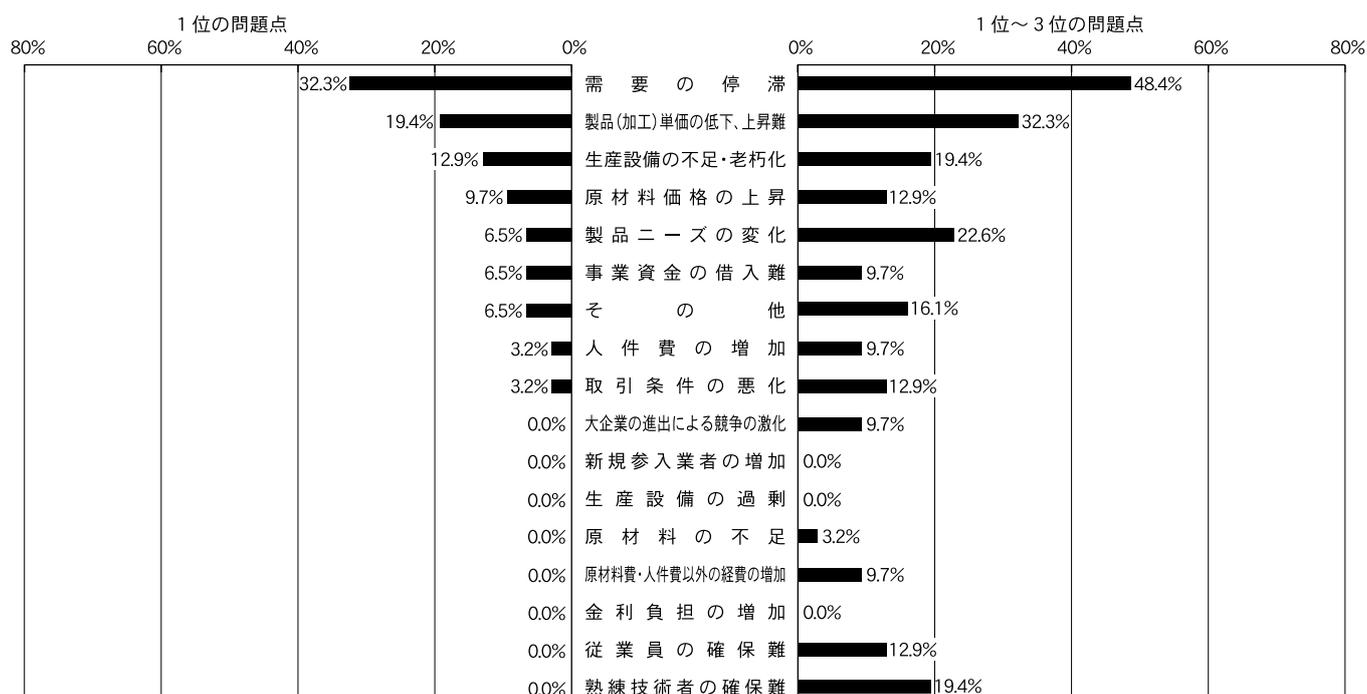
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の32.3%（10社）であり、2番目は、「製品（加工）単価の低下、上昇難」の19.4%（6社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の48.4%（15社）であり、2番目は、「製品（加工）単価の低下、上昇難」の32.3%（10社）である。

山梨県 製造業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	13.5
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	4	10.8
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	4	10.8
金属製品製造業	2	5.4
一般機械器具製造業	13	35.1
電気機械器具製造業	3	8.1
輸送用機械器具製造業	0	0.0
その他製造業	4	10.8
合計	37	100.0

従業員規模別

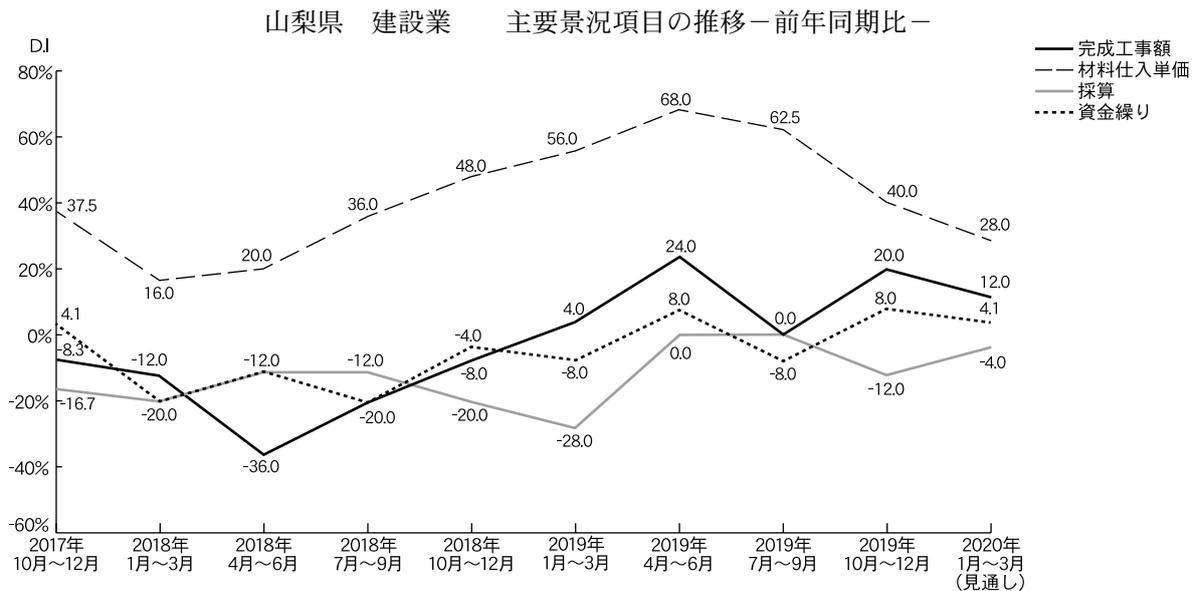
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	18	48.6	16	43.2
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	6	16.2	9	24.3
11人～20人以下	4	10.8	5	13.5
合計	37	100.0	37	100.0

### 3. 建設業の動向

#### (1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期は20.0と前期比20.0ポイント改善しているものの、来期は12.0と悪化する見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は40.0と前期比22.5ポイント低下（改善）しており、来期も28.0と低下（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲12.0と前期比12.0ポイント悪化している。一方、来期は▲4.0と改善する見通しである。資金繰りD Iは、今期は8.0と前期比16.0ポイント改善しているものの、来期は4.1と悪化する見通しである。

今期は、採算D Iを除いて改善している。来期は、完成工事D I、資金繰りD Iが悪化、材料仕入単価D I、採算D Iは改善の見通しである。

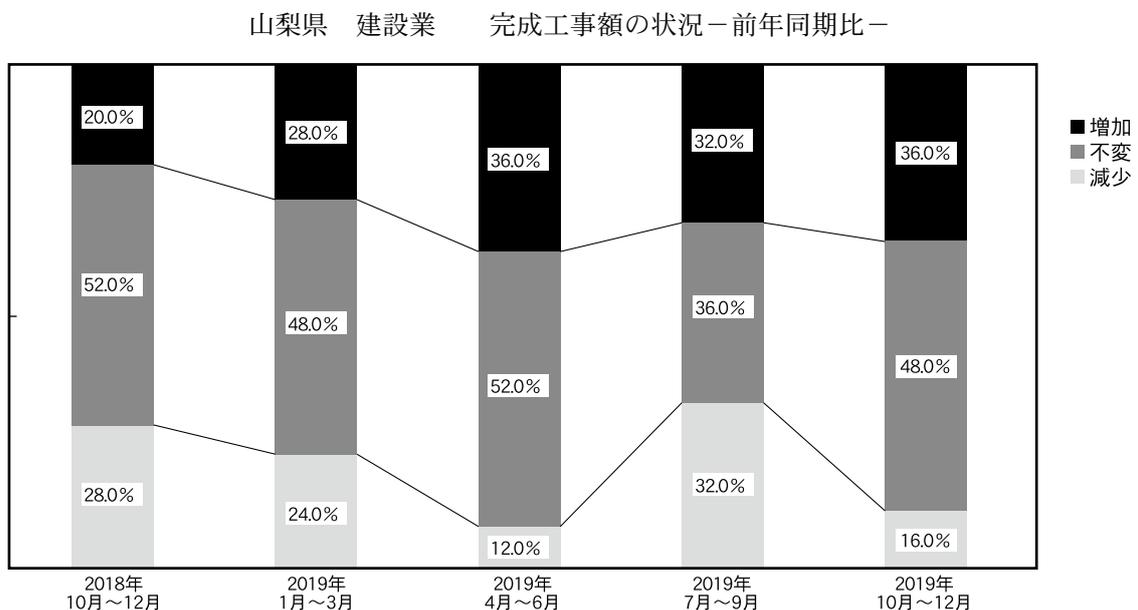


#### (2) 主な項目で見る業況

##### ① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、36.0%（9社）と増加（前期比+1社）している。

「不変」は48.0%（12社）と増加（前期比+3社）、「減少」は18.0%（4社）と減少（前期比▲4社）している。



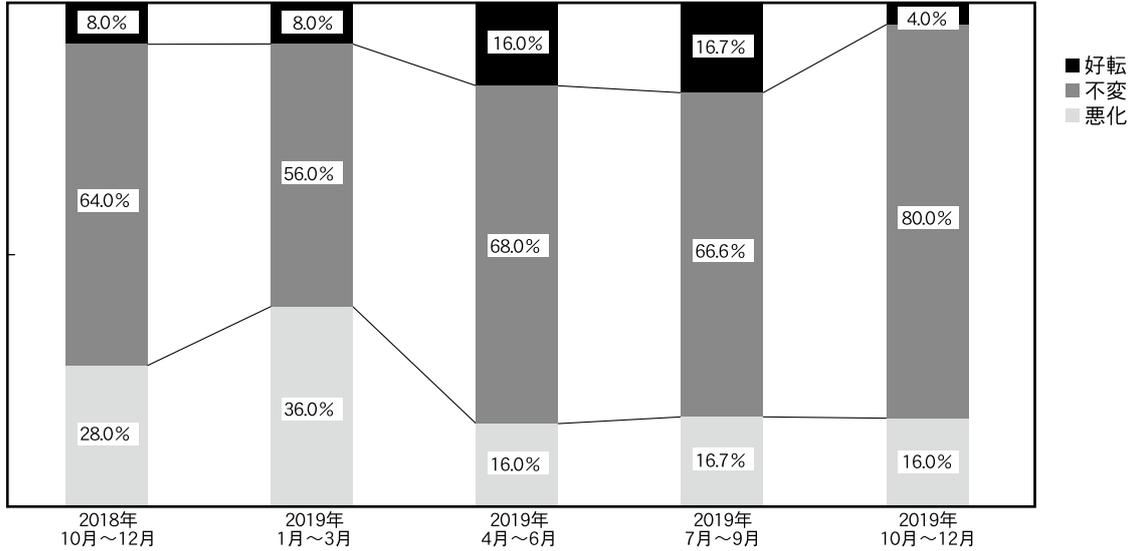
② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社（前回24社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、4.0%（1社）と減少（前期比▲3社）している。

「不変」は80.0%（20社）と増加（前期比+4社）、「悪化」は16.0%（4社）と微減（企業数は横這い）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

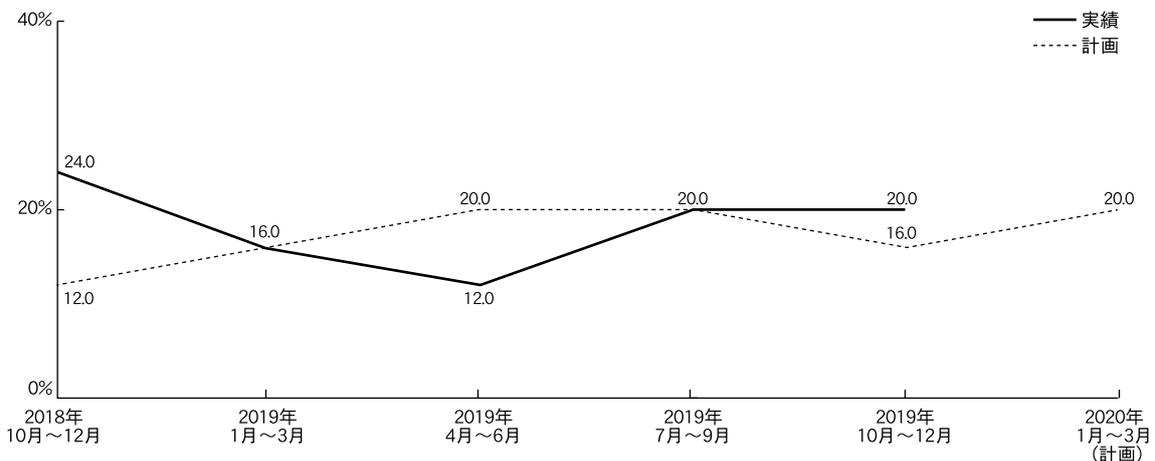


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は20.0%（5社）であった。その設備投資の内容は、「建設機械」「OA機器」が3件ずつ、「土地」「車両・運搬具」「付帯設備」が1件ずつであった。

来期の計画についても、20.0%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「OA機器」が2件、「土地」が1件になる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数23社）

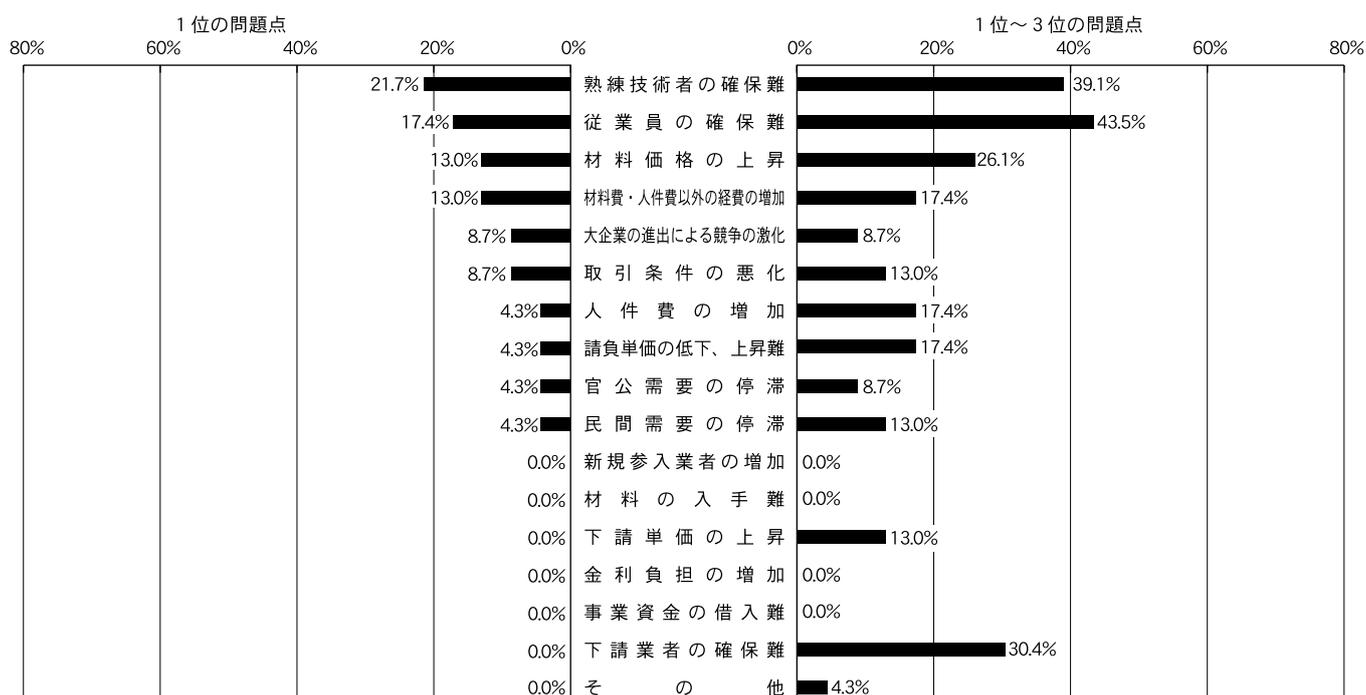
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「熟練技術者の確保難」の21.7%（5社）であり、2番目に多かったのは、「従業員の確保難」の17.4%（4社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「従業員の確保難」の43.5%（10社）であり、2番目に多かったのは、「熟練技術者の確保難」の39.1%（9社）である。

山梨県 建設業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	17	68.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	4	16.0
合計	25	100.0

従業員規模別

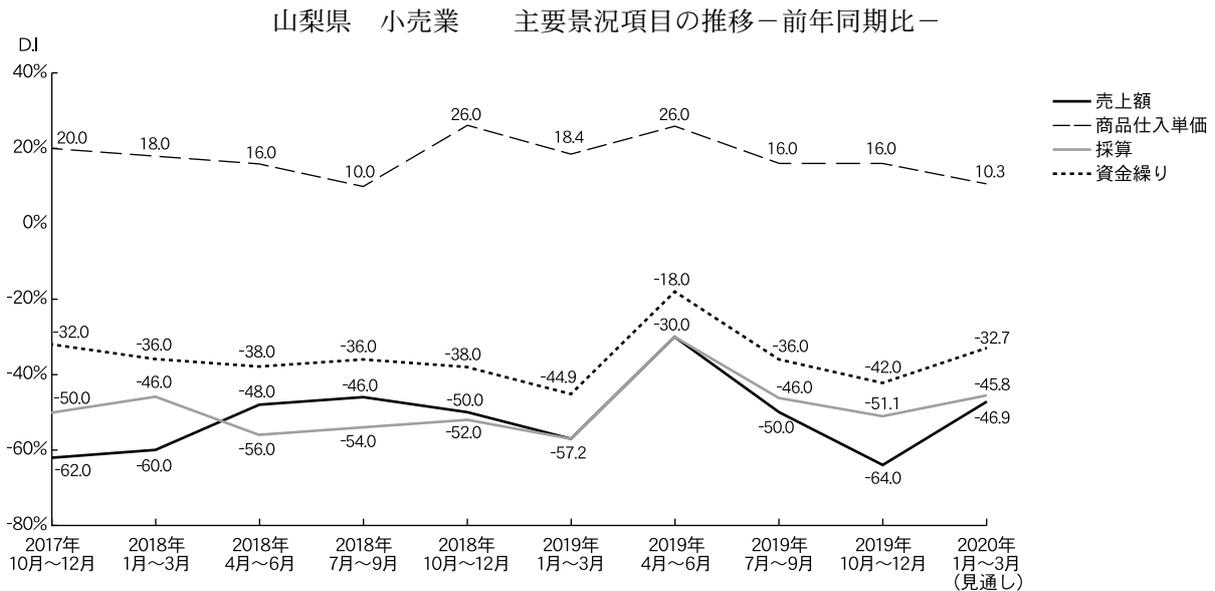
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い 企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	9	36.0	7	28.0
3人～5人以下	6	24.0	8	32.0
6人～10人以下	4	16.0	4	16.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
21人～50人以下	1	4.0	1	4.0
合計	25	100.0	25	100.0

## 4. 小売業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲64.0と前期比で14.0ポイント悪化している。一方、来期は▲46.9と改善する見通しである。商品仕入単価D Iは、今期は16.0と前期比で変化なし。来期は10.3と下降（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲51.1と前期比で5.1ポイント悪化している。一方、来期は▲45.8に改善する見通しである。資金繰りD Iも、今期は▲42.0と前期比で6.0ポイント悪化しているものの、来期は▲32.7と改善する見通しである。

今期は、全てのD Iで改善はなし（商品仕入単価D Iは横這い）。一方、来期は全てのD Iで改善する見通しである。

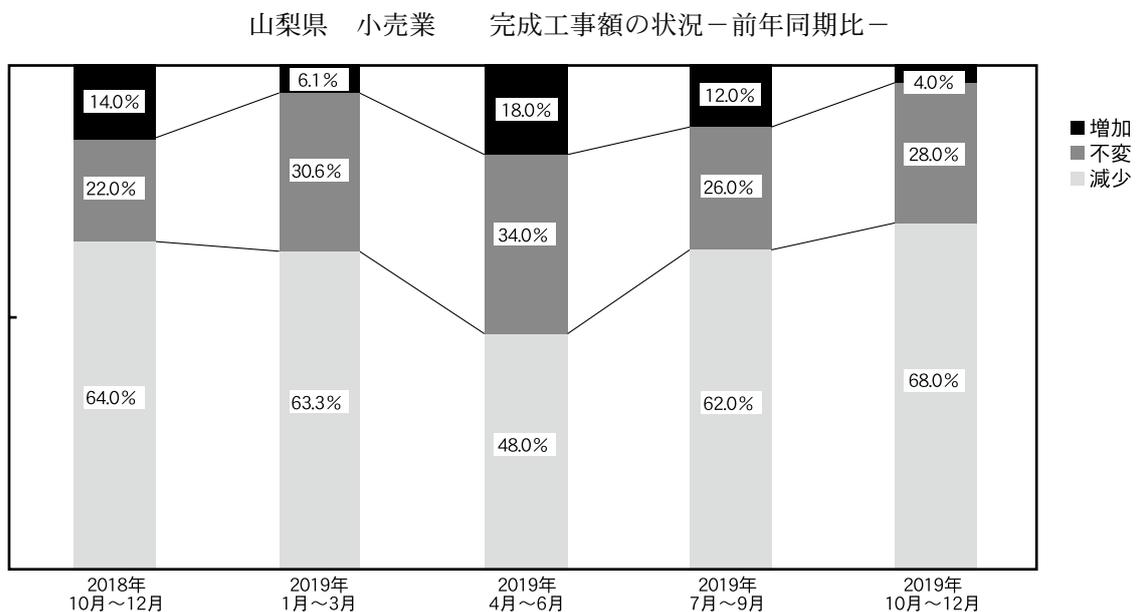


### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、4.0%（2社）と減少（前期比▲4社）している。

「不変」は28.0%（14社）と増加（前期比+1社）、「減少」は68.0%（34社）と増加（前期比+3社）している。



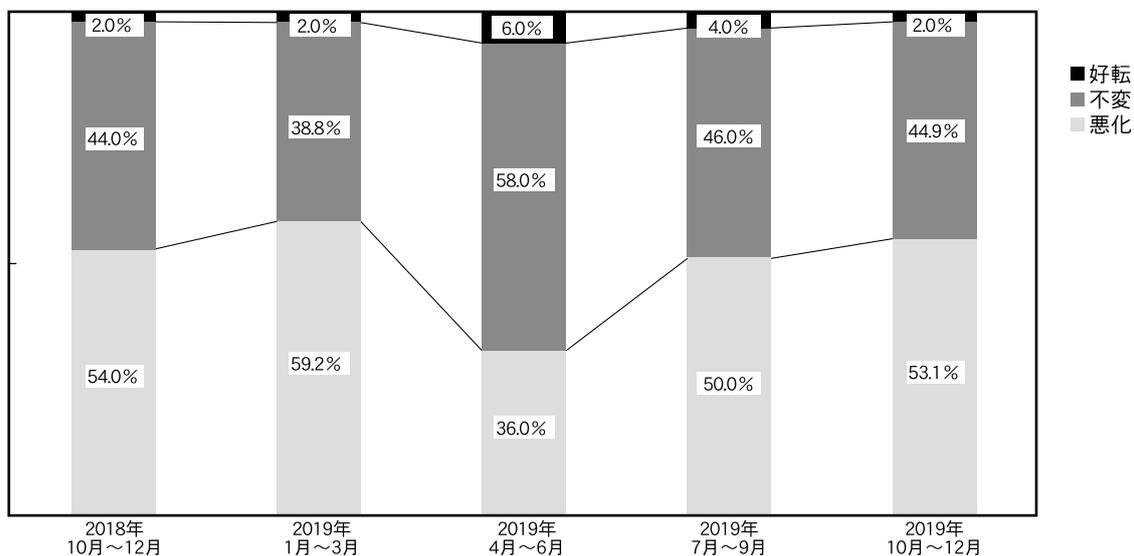
② 採算（採算D I の内容（回答企業数49社（前回50社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、2.0%（1社）と減少（前期比▲1社）している。

「不変」は44.9%（22社）と減少（前期比▲1社）、「悪化」は53.1%（26社）と増加（前期比+1社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

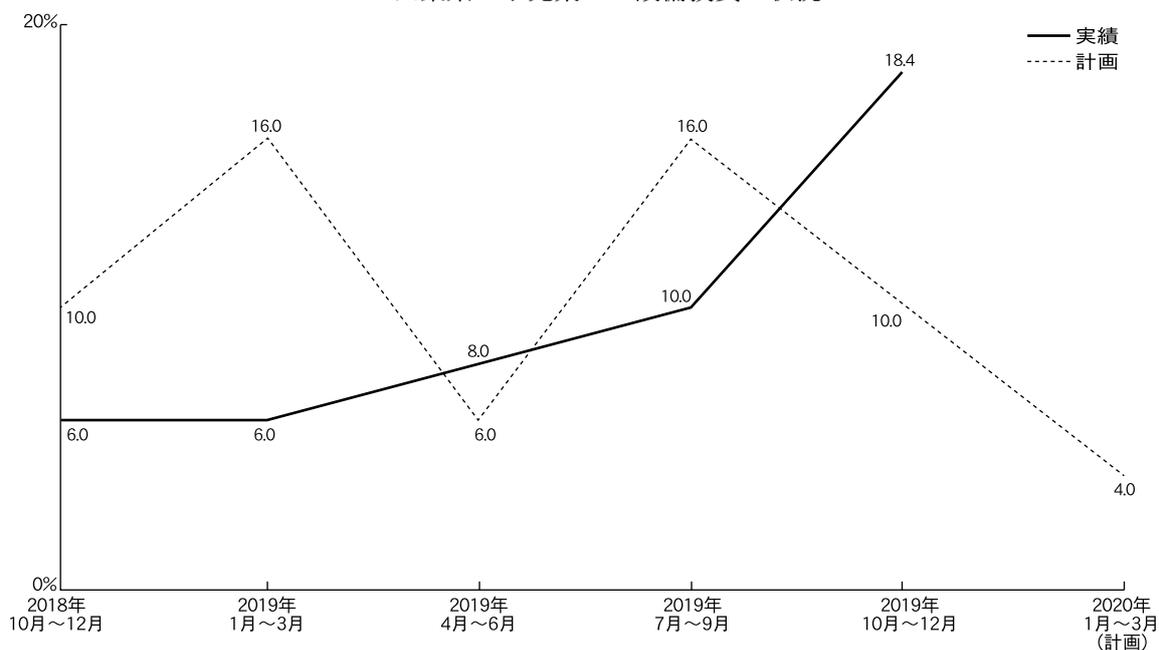


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数49社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は18.4%（9社）であった。その設備投資の内容は、「OA機器」が4件、「付帯設備」が2件、「店舗」「販売設備」「車両・運搬具」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、4.0%（2社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「土地」「店舗」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数47社）

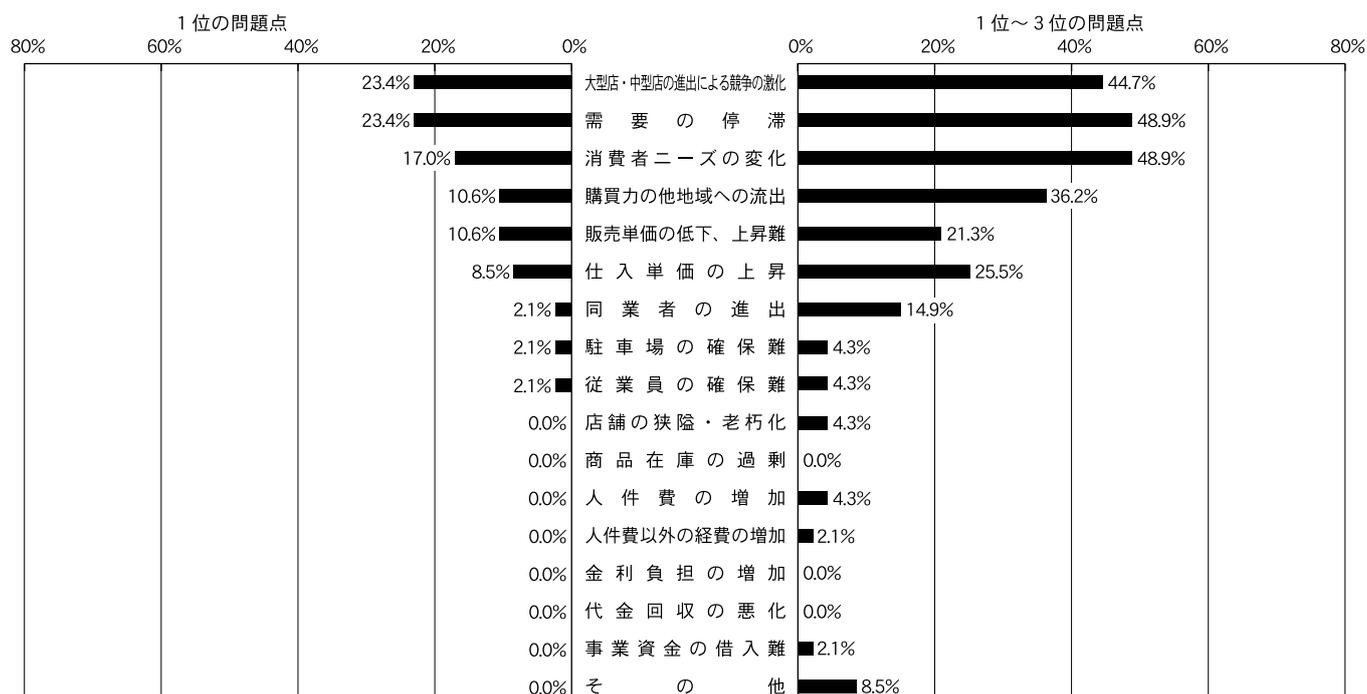
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「大型店・中型店の進出による競争の激化」と「需要の停滞」との同率23.4%（11社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」と「消費者ニーズの変化」との同率48.9%（23社）である。

山梨県 小売業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	11	22.0
飲食物品小売業	17	34.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	16	32.0
合計	50	100.0

従業員規模別

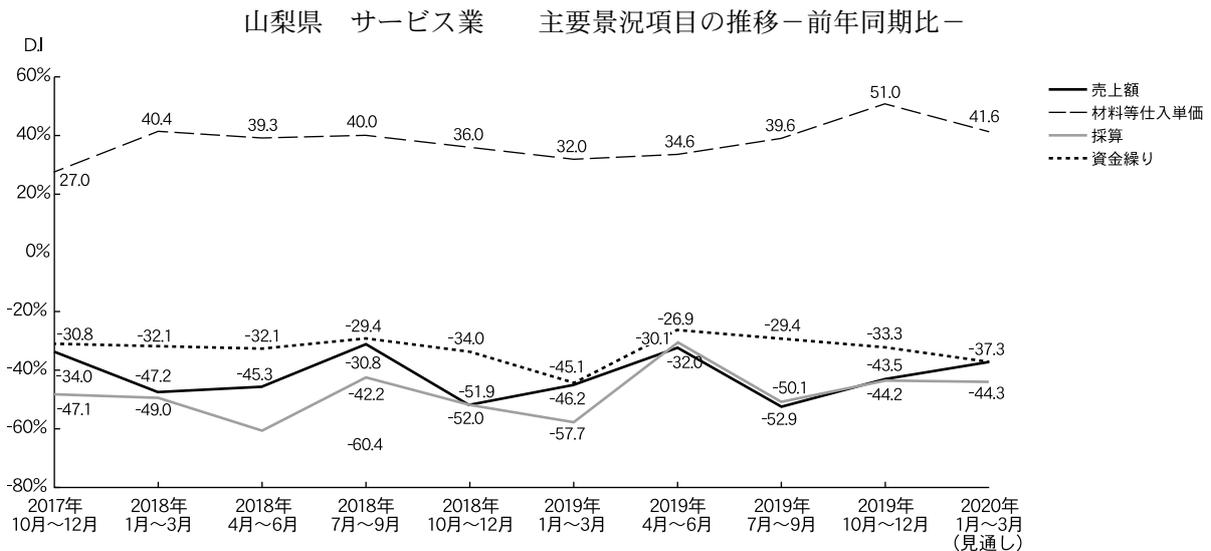
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	47	94.0	41	82.0
3人～5人以下	3	6.0	9	18.0
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	50	100.0

## 5. サービス業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲43.5と前期比で9.4ポイント改善しており、来期も▲37.3と改善の見通しである。材料等仕入単価D Iは、今期は51.0と前期比で11.4ポイント上昇（悪化）している。一方、来期は41.6と下降（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲44.2と前期比で5.9ポイント改善しているものの、来期は▲44.3と僅かに悪化の見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲33.3と前期比で3.9ポイント悪化しており、来期も▲37.3と悪化の見通しである。

今期は、売上額D I、採算D Iが改善、材料等仕入単価D I、資金繰りD Iが悪化している。一方、来期は、売上額D I、材料等仕入単価D Iが改善、資金繰りD Iが悪化の見通しである（採算D Iは、ほぼ横ばい）。

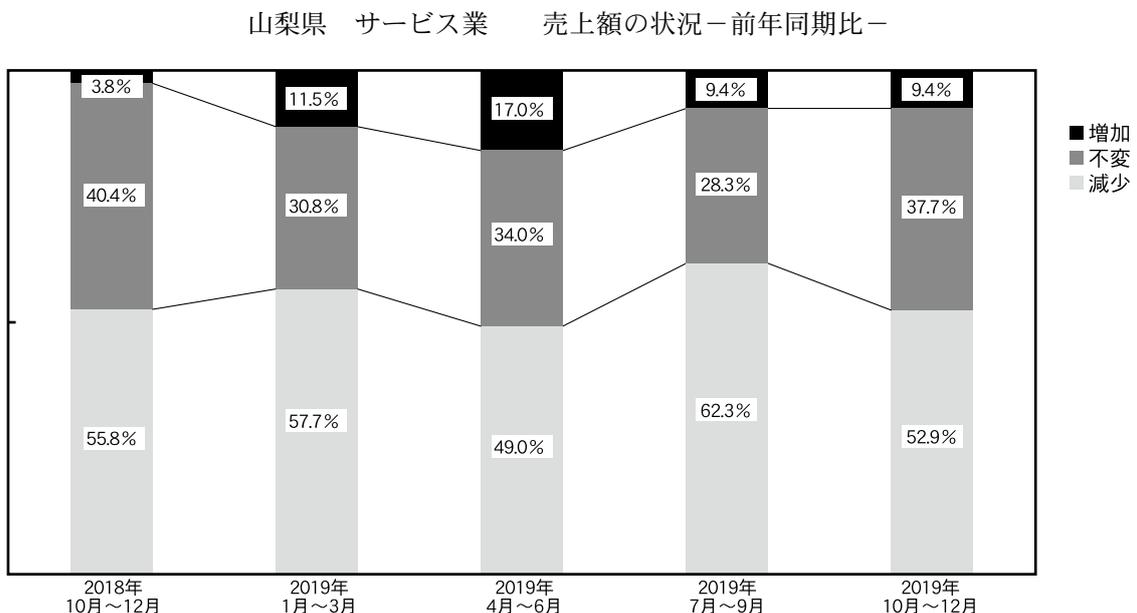


### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社））

「増加」と答えた企業の割合は、9.4%（5社）と前期から変化なし。

「不変」は37.7%（20社）と増加（前期比+5社）、「減少」は52.9%（28社）と減少（前期比▲5社）している。



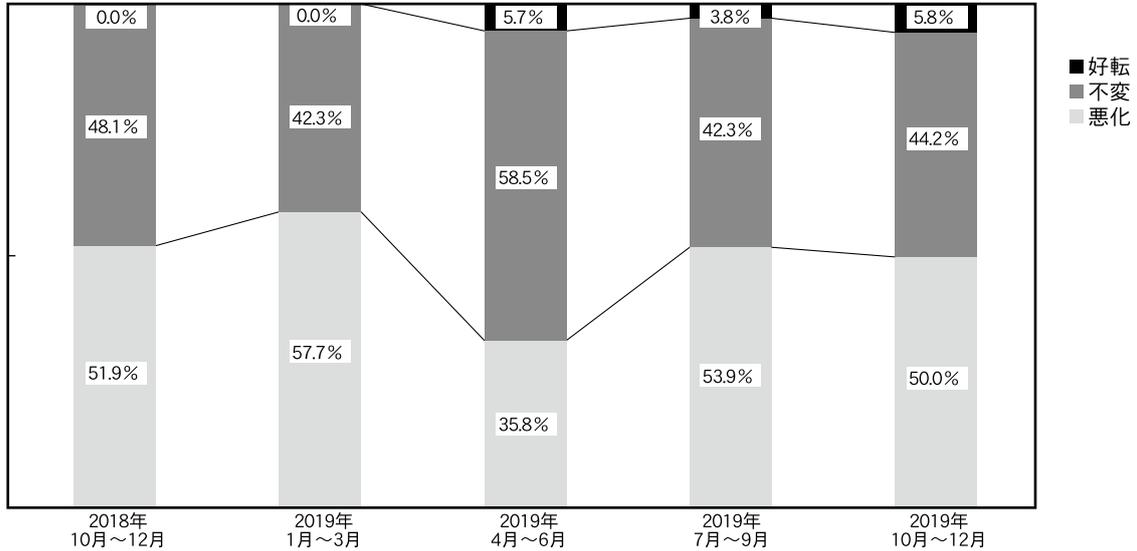
② 採算（採算D Iの内容（回答企業数52社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、5.8%（2社）と増加（前年比+1社）している。

「不変」は44.2%（23社）と増加（前期比+1社）、「悪化」は50.0%（26社）と減少（前期比▲2社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

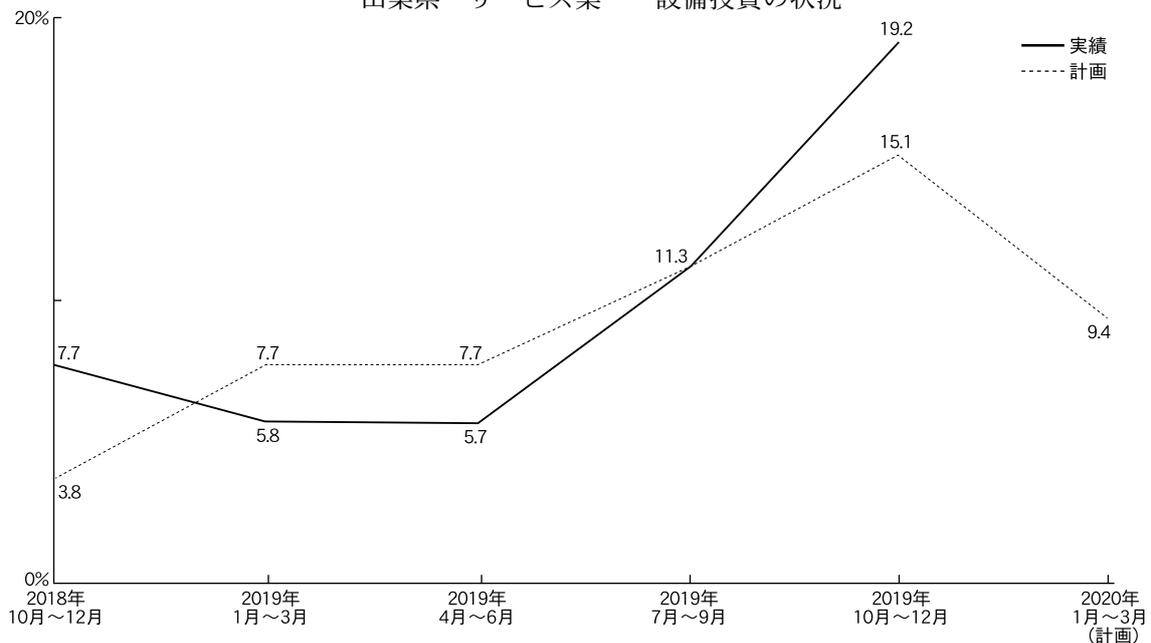


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数52社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は19.2%（10社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「建物」「付帯設備」「その他」が2件ずつ、「サービス」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、9.4%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「サービス」が3件、「車両・運搬具」「付帯設備」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数48社）

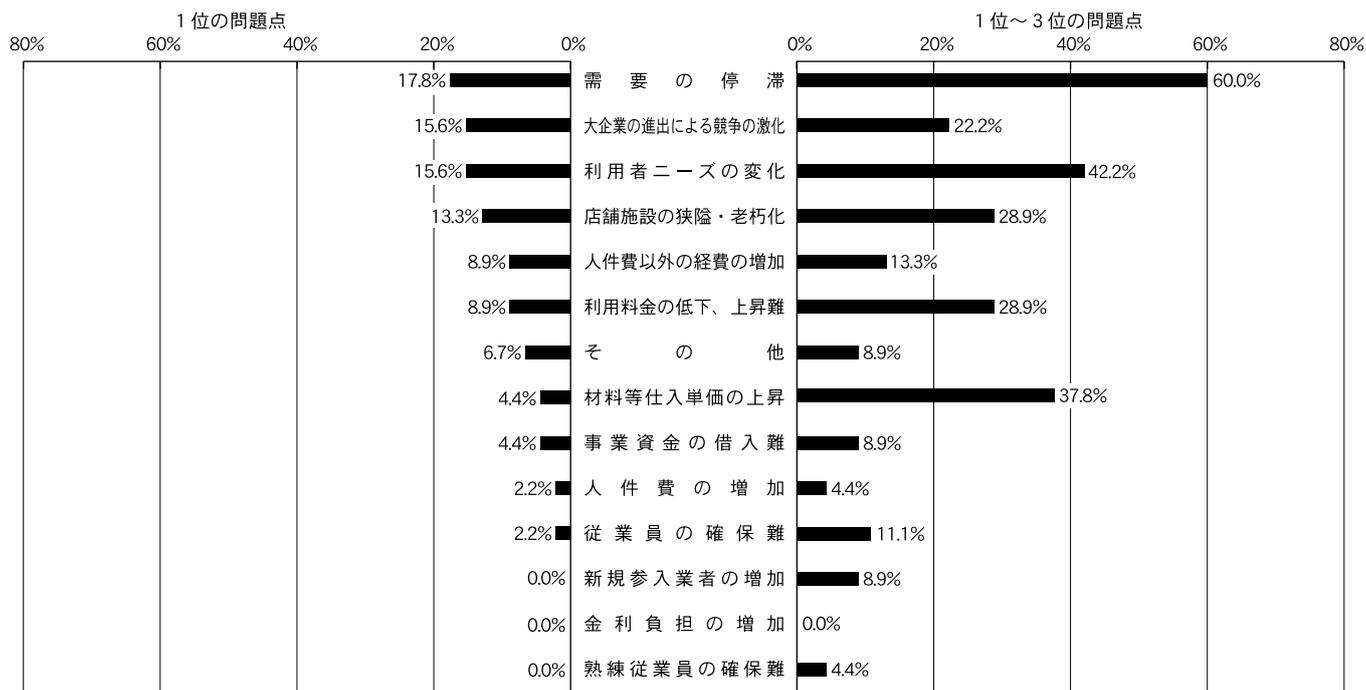
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の17.8%（8社）であり、2番目は、「大企業の進出による競争の激化」と「利用者ニーズの変化」との同率15.6%（7社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の60.0%（27社）であり、2番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」の42.2%（19社）である。

山梨県 サービス業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	35.8
宿泊業	7	13.2
運送業	2	3.8
自動車整備業	3	5.7
洗濯・理美容業	19	35.8
その他のサービス業	3	5.7
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	45	84.9	41	77.4
3人～5人以下	8	15.1	11	20.8
6人～10人以下	0	0.0	1	1.9
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	53	100.0